

総務文教常任委員会レポート

総務文教常任委員会（小笠原茂人委員長）は、7月29日、大津地区住民を津波被害から守るための避難体制及び新たに整備が計画されているトンケシ緊急避難場所整備等の状況について調査を実施しました。

1 調査の経過と結果

(1)大津住民の避難体制について
今年度中に「豊頃町地域防災計画」及び「ハザードマップ」の改定を行うが、津波災害警戒区域の見直しなどに伴う大津地域での浸水想定高自体は低くなっており津波による浸水域は基本的に変わっていないことから、大津地区住民の避難については、国道336号避難場所への避難を前提とすることに変更はない。しかし、新たに公表された津波到達時間（7分から23分）や最大津波高（22・3メートル）、地震等による道路寸断なども想定し、新たにトンケシ緊急避難場所の整備を行っている。



委員会室での聞き取り調査

(2)大津地区津波住民避難訓練について

地震等により道道大津旅来線が寸断され国道336号線に出られないことなどを想定してトンケシ緊急避難場所を整備しているが、津波発生時の大津住民の基本的な避難の考え方としては、陸側に向かって避難することが前提となることから、避難訓練については、従来どおり陸側（国道336号線に面して設けられた「津波緊急避難場所」）に逃げることを想定して実施することとしている。

(3)トンケシ緊急避難場所の整備計画について

日本海溝・千島海溝巨大地震対策の特別措置法改正により、大津地域が特別強化地域に指定された場合、国からの補助率の嵩上げが見込まれるところであり、それらを活用して順次整備を実施していく予定である。

令和4年度においては、「トンケシ緊急避難場所避難路調査設計業務（418万円）」及び「トンケシ緊急避難場所避難路改良工事（3,795万円）」を施工し整備する

とともに、今後補正により「トンケシ緊急避難場所防災備蓄資材庫」の設置も予定している。

また、令和5年度以降には、漁港迂回道路からトンケシ高台に接続する新たな避難経路など、多様な避難経路の検討を行うとともにトンケシ緊急避難場所防災備蓄資材庫への防災備品の拡充を図ることとしている。



トンケシ高台での視察

(4)大津地区住民への周知について

トンケシ緊急避難場所の整備計画を含めた今後の避難体制及び北海道から示された日本海溝・千島海溝沿いを震源とする巨大地震の被害想定結果についての津波地区住民説明会を、令和4年8月3日

産業厚生常任委員会レポート

1 調査の経過と結果

調査当日は、町内の9圃場8作物について1圃場ごとの作物の草丈、着莢数などの生育状況や、病害虫の発生状況、農作業の進捗状況及び今後の注意事項などについて説明を受けた。本年は、馬鈴薯の植付作業、てん菜の移植作業及び大豆、小豆の種作業は平年並みかやや早めに行われたが、降雨の影響により直播栽培のてん菜、金時及び手亡のは種作業は平年より遅れて行われた。



現地視察及び説明聴取のようす

調査時点での作物ごとの生育状況は、てん菜については、草丈、葉数及び根周は平年より良く生育は順調であったが、一部で多雨に

産業厚生常任委員会（坂口尚示委員長）は、農作物の作況について、8月24日、豊頃町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行し、調査を行いました。

よる湿害等が散見され、今後高温多湿による褐斑病の発生リスクは高い状況となっている。馬鈴薯については、6月上旬までは少雨であったが、その後は高温多湿で推移したため、軟弱徒長となり倒伏も多くなっており、1株当たりのいも数はやや少なく、1個当たりのいも重も小さい傾向である。豆類は、発芽後は高温傾向で、降雨もあり、莖葉の生育は平年並みから上回る傾向で推移し、開花は大豆、小豆及び手亡が平年よりやや早く、金時は平年並みとなり、豆類全般に平年に比べ草丈は高く、莢数は小豆以外少ない状態となっている。牧草については、一番草の収穫作業は平年並みに始まったが、降雨の影響によりロール体系の収穫作業ができず、平年より13日遅れて作業が終了し、収量は平年並みの見込みとなっている。二番草については、草丈がやや長い状況で平年並みの生育であるが、一番草の収穫時期の差で、圃場間の差は大きくなっている。

なお、すでに収穫作業の終了した秋まき小麦については、根雪が1月上旬と遅く、3月にも降雪が

あったために起生期は遅くなり、その後は平年並みからやや早く推移していたが、6月上旬の低温寡照により生育が鈍化し、出穂から開花がばらつき、6月下旬からの高音多雨や低温気温、7月中旬以降の多雨の影響で根腐れが進んだため、成熟期が平年より早くなり、収穫作業も平年より早く始まり早く終了したため、収量は昨年を下回り乾麦で反収が概ね9・2俵、製品反収では約8俵を見込む結果となっている。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、今後の台風等により作物への影響が懸念されることである。

また、今後においては、病害虫による被害、霜の降りる時期によっては豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。

全町的に中長期的な明・暗渠排水などの農地基盤整備対策により、安定的な収量確保に向けた対策を講じることや、本格的な収穫期を迎えるに当たり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等を通じて指導の徹底を求めるなどの意見が出された。

2 まとめ

トンケシ緊急避難場所整備については、大津住民が津波発生時に避難をするための選択肢を増やすためのものとして有効であることが確認できた。

しかし、現在は大津市街地から直接トンケシ高台に通じる道路が無いことから、今後は大津市街地から直接トンケシ高台に接続するための新たな避難経路など、多様な避難経路を早急に検討する必要があるとの意見と、道路が寸断された場合の徒歩での避難については、避難タワーの設置や、避難艇の配置などを更に検討することも必要ではないかとの意見が出された。また大津地域住民には、自主防災組織を含め現在実施している避難訓練により、津波発生時に確実に避難ができるよう十分な説明と周知が必要との意見も出された。

今後においては、大津地区に限らず防災体制をより強固なものとするには、町民及び関係機関との関わりを密にし、町全体で災害に強いまちづくりの取組みを進めるべきとの意見が出された。

議会日誌

〔9月〕

5日 議会運営委員会
8日 第3回定例会（1日目）
（補正予算、条例改正ほか）
議員全員協議会
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会

13日 第3回定例会（2日目）
（令和3年度決算認定）
15日 第3回定例会（3日目）
（一般質問、意見書ほか）
議会広報特別委員会

〔10月〕
1日 とよころ産業まつり参加
5日 議会広報特別委員会

◎今後の予定
〔11月〕
9日 全国議長大会 ～東京都
24日 第3回臨時会
28日 一部事務組合議会定例会
～帯広市

〔12月〕
5日 議会運営委員会
8日 第4回定例会（1日目）
（補正予算、条例改正ほか）
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会

15日 第4回定例会（2日目）
（一般質問ほか）
議会広報特別委員会